

アカデミック・アドバイジング コア・コンピテンシーモデル

NACADAアカデミック・アドバイジング・コア・コンピテンシーモデル（2017）は、当協会役員の要望により、協会内の専門職開発委員会が作成しました。このモデルは、アカデミック・アドバイジングの基礎となる広範な理解、知識、技能を明確にするとともに、専門職開発を方向付け、学生の発達や改善、成功のためにアカデミック・アドバイジングを活用することを目的にしています。アカデミック・アドバイジング・コア・コンピテンシーモデルは、以下のように使用されることを企図しています。

- **アドバイジング専従者**
自己診断・評価、関連する内容の学習や職能開発・向上のため
- **アドバイザー担当教員、アカデミック・アドバイジングの管理運営職**
アカデミック・アドバイジングの役割や責任を明確にし、教育や学修に対してアカデミック・アドバイジングがいかに役立つのかを示すため
- **アカデミック・アドバイジングの上級職**
職員の能力開発に関わる強みや領域を見極めるとともに、採用、研修、評価の指針のため
- **学修に関連する専門職、研修担当者、研究者**
カリキュラム開発の支援、学習における優先事項の設定、学習分野における学術的探求の発展のため

アカデミック・アドバイジング コア・コンピテンシーの枠組み

アカデミック・アドバイジング・コア・コンピテンシーを根底から支え、アドバイジングに関する効果的な研修プログラムや実践のための基本的事項として3つの構成要素—「概念について（コンセプチュアル）」、「知識について（インフォメーションル）」、「関係について（リレーショナル）」—があります。これらの内容を理解することで、アカデミック・アドバイザーは、学生に効果的に助言をするための知識や技能を得ることができます。

- **概念について（コンセプチュアル）**
「概念について」は、アカデミック・アドバイジングを実施する上で背景となる事項を提供します。アカデミック・アドバイザーが効果的な助言を学生にする上で理解しておかなければならない考え方や理論がここに含まれます。
- **知識について（インフォメーションル）**
「知識について」は、アカデミック・アドバイジングの内容を規定するものです。所属機関で学生を助言できるよう習得しておくべき知識がここに含まれています。
- **関係について（リレーショナル）**
「関係について」は、アカデミック・アドバイザーが支援を受ける者に対し、他の2つの構成要素から特定の概念や情報を伝えるための技能を規定するものです。



優れたアカデミック・アドバイジングを行うため、所属機関固有のアドバイジングのミッションに関わらず、すべてのアカデミック・アドバイザーはこれら3つの構成要素をすべて理解するとともに、アドバイジングの場面において必要とされるものとして、これらの要素を統合し、応用できるようにしなければなりません。

アカデミック・アドバイジングにおける コア・コンピテンシーの領域

概念について (コンセプチュアル)

「概念について」(アカデミック・アドバイザーが理解しなければならない概念)のコア・コンピテンシーには以下の理解が含まれます。

1. 高等教育におけるアカデミック・アドバイジングの歴史と役割
2. NACADAのアカデミック・アドバイジングに関する基本的価値観
3. アカデミック・アドバイジングに関する理論
4. アカデミック・アドバイジングの方法と戦略
5. アカデミック・アドバイジングに期待される成果
6. 公平かつ包摂的な環境の構築・維持の方法

知識について (インフォメーション)

「知識について」(アカデミック・アドバイザーが習得しなければならない知識)のコア・コンピテンシーには以下の知識が含まれます。

1. 所属機関の歴史、ミッション、展望、価値、文化
2. カリキュラム、学位プログラム、その他の修学上の要件と選択肢
3. 各機関における方針、手続、規則、法規
4. 個人情報保護や守秘義務といったアドバイジングの実践に係る法的基準
5. 多様な学生集団の特徴、ニーズ、経験
6. 学生の成功を支える学内外の資源
7. アカデミック・アドバイジングに利用できる情報技術

関係について (リレーション)

「関係について」(アカデミック・アドバイザーが示さなければならない技能)のコア・コンピテンシーには以下の能力が含まれます。

1. アカデミック・アドバイジングに関する自身の哲学を明確に述べる。
2. ラポールを形成し、アカデミック・アドバイジングの関係を構築する。
3. 包摂的で敬意を持った態度でコミュニケーションをとる。
4. 成功をもたらすアドバイジングを計画し、実行する。
5. 学生にカリキュラムの論理や目的をよく理解させる。
6. 問題解決、意思決定、意味づけ、企画立案、目標設定を手助けする。
7. 自分自身や自身のアドバイジングの実践に関する評価や能力開発に継続して取り組む

NACADAアカデミック・アドバイジング・コア・コンピテンシーモデルに関するより詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

nacada.ksu.edu/resources/pillars/corecompetencies